

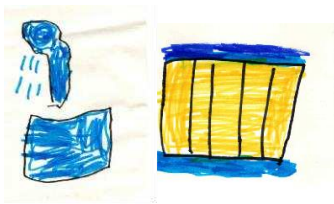
7月園だより

令和6年7月1日

第三ひもんや保育園園長

5歳児が、自分たちで布を染め縄跳びを編み上げると廊下で練習を始めています。ある日「園長先生、見に来て」と声をかけられたので見に行くと「あのね、〇〇くん、3回跳べるようになったんだよ」と嬉しそうに教えてくれました。その子に目を向けると自信満々に跳ぶところを見せてくれました。次の日も、廊下からビュンビュンと縄の音が聞こえてきたので覗いてみると昨日3回しか跳べなかった子が、なんと7回も跳べるようになっていました。「すごいね。昨日3回しか跳べなかったのにたくさん跳べるようになったね」と声をかけると照れながら笑っていた姿がとても印象的でした。友達の姿を肯定的にとらえ、声を掛け合える子どもたちの姿に嬉しく思い同じクラスの仲間としての意識が芽生えてきたのだなと感じました。廊下での縄跳びをする子どもたちが日に日に増えています。そんな5歳児の姿を他クラスの子どもたちが憧れのまなざしで見えています。一緒にぴょんぴょんと跳ねている1歳児の姿はなんとも可愛らしかったです。3歳児も自分のクラスから、5歳児が跳んでいる様子を真剣な表情でみています。そして2歳児は、縄に興味をもち園庭で縄を使った遊びを自分たちで工夫して楽しんでいます。最終学年である5歳児の姿は下のクラスの子どもたちにとって憧れであり目標なのでしょう。

今年度は、暑さ対策の一環から水遊び・プール開きを6月に行いました。水が大好きな子ども達は、始まる前からワクワクと期待に満ちていました。プール初日は、どのクラスの子どもたちもプールの中に入った瞬間、満面の笑みを浮かべてキラキラと輝いていました。水の事故には十分注意をしながら夏ならではの体験を楽しんでいきたいと思えます。コドモンへの入力、タオルや水着などの準備のご協力よろしくお願いたします。



<行事予定>

七夕(各クラス)

笹送り(3・4・5児クラス)

避難訓練

身体計測(全園児)



乳児クラスが楽しんでいる遊びを紹介します

ありんこ組



ちょうちょ組



てんとうむし組



出し入れする面白さがわかるようになり、繰り返し楽しんでいます

フープの中にマットを入れるとゆりかごのようになります。バランスをとりながら揺れています。

井形ブロックで作ったものを転がして遊んでいます。倒れないように力加減して上手に転がしています。

～幼児クラス戸外遊びの様子を紹介します～

3歳児クラス（みつばち組）

「 やってみたい 」

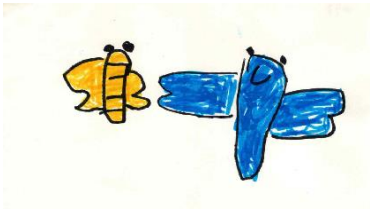
園庭でとんぼ組、かぶとむし組のお兄さん、お姉さんがしていることをよく見ていて面白そうだったことを真似したり、仲間入りしたりして楽しんでいます。滑り台にマットを持って登り2、3人で一緒に滑るのを見て、やってみたいという表情をしていた子どもたちが、ある日挑戦し始めました。先頭の子がマットをしっかり持ち、2番目の子がお腹につかまり、3番目の子もなんとかマットの上に乗ると「いーよー」と声をかけるとうまく滑ることができました。思った通り楽しくて「もう一回やろう」と何度も滑っていました。色々な刺激を受けて興味を広げています。



4歳児クラス（とんぼ組）

「 みんなのおうち 」

3人ぐらいの子どもたちがタイヤとマットを組み合わせて家を作り始めました。マットを布団に見立てて「おやすみなさい」とくつろいでいます。そこに一人、また一人と集まってきてどんどん大所帯になっていきました。「お届けものです」とカフェの食事も届き、遊びが広がっていきます。お姫様だったり猫だったりとなりきっているものは様々で統一したイメージではないのですが、一緒にいることを楽しんでいます。クラスの仲間という意識が少しずつ芽生え始めてきています。



5歳児クラス（かぶとむし組）

「 海の街を作ろう 」

子どもたちが砂場に大きな山を作り、その近くに穴を掘っていました。「ここを海にしたいね」「山は噴火させたいね」とどんどんイメージが広がっていきます。大きなタライにたっぷりの水を運ぼうとしていた子がいました。重くて運べず「誰か手伝って」と声をかけると数名が集まってきて協力して運んでいました。「せーので流すよ。せーの」とタライの水を勢いよく流すと、海を作ることができました。何度も力を合わせて水を運び「こっちから流すとつながるよ」と言う子がいたり「橋をつくと面白い」と板を持ってくる子がいたり、友達同士で協力しながら楽しんでいました。海の周りには水路や橋が作られ、子どもたちのアイデアがたくさん詰まった海の街が完成しました。

